

## 第2章 将来像の実現に向けて

### 基本目標 3

活力にあふれ多彩な魅力が輝く  
まちの実現  
(文化分野)

## 現 状

平成27年度には浅草寺伝法院6棟が国の重要文化財に指定され、平成28年度には国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献」が世界文化遺産に登録されたほか、横山大観旧宅及び庭園が国の史跡及び名勝に指定されました。このように台東区には、歴史的建造物のほか伝統行事、伝統芸能など長く守り伝えられてきた多くの文化資源が存在しています。

区では、有形、無形などの文化財保護を行っており、区立文化施設のうち、国指定名勝である朝倉彫塑館や、重要文化財である旧東京音楽学校奏楽堂においては、文化財としての価値が損なわれないよう保全工事を実施してきました。また、郷土に伝承されてきた民話や遊びを保育園や小学校などの子供達に普及しているほか、「台東区子供歴史・文化検定」を実施しています。さらに、区における郷土資料の収集や、伝統行事などの映像資料を保存し、それらの展示や資料の貸し出しを実施しています。そして、地域の個性を表す旧町名についても貴重な歴史的・文化的財産であると捉え、平成28年度に「旧町名活用懇談会」を設置し、その活用について様々な提案がなされました。

## 課 題

台東区の文化資源が失われることのないよう、確実に保存し、次世代に継承していくことが求められています。

また、文化資源の価値が認知され、それらの歴史や意義についての理解が広まるよう、文化資源を積極的に活用していくことが求められています。



© 国立西洋美術館

国立西洋美術館



## 10年後の目指す姿

- 区内の大切な文化資源が確実に保存・継承され、様々な媒体や機会を通じて活用されています。

## 主な取り組み

### ●文化財保護

台東区内の文化財を適切に保存・継承します。また、文化財の保存・継承の意義や重要性を広く周知するための講座などを実施します。

### ●台東区の歴史・文化を学ぶ機会の提供

台東区の歴史・文化の魅力や重要性を普及する人材の育成や、区内の子供を対象とした、郷土の歴史・文化を学ぶための講座や検定を実施します。

### ●世界文化遺産の継承

国立西洋美術館の文化的・建築的価値について普及啓発を行うとともに、周辺環境の保全に努めます。

### ●郷土資料や芸能文化などの保存・活用

郷土資料などの収集や、実演芸能の記録などにより、台東区の貴重な文化資源を保存します。また、それらの文化資源は、展示や資料貸し出しなどにより活用を図ります。

## 施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
区民文化財台帳 登録件数	累計228件	累計255件	累計280件	所管課調べ

## 現 状

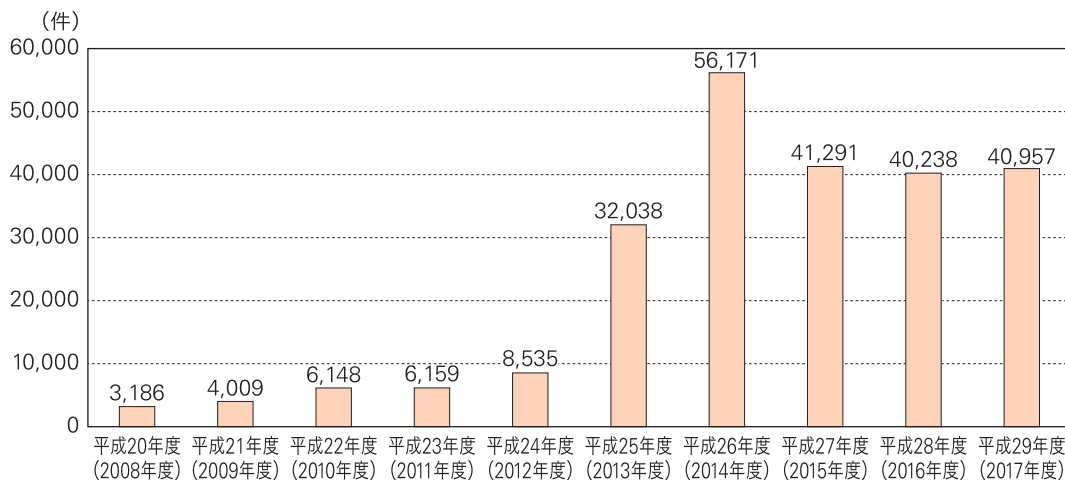
台東区は、多くの文化施設や学術・教育機関が集積する上野、演劇や落語などの芸能に関する施設が集まる浅草など、わが国有数の文化の創造の拠点を擁しています。

区では、平成20年度より「台東区芸術文化支援制度」を実施し、台東区内で行われる様々な分野の先駆的な芸術文化企画を支援してきました。

また、東京藝術大学学生の美術分野における卒業・修了制作作品に対して、台東区長賞・台東区長奨励賞を授与してきたほか、平成29年度からは、新たに音楽分野において顕著な成果をあげた学生に対する台東区長賞を創設しています。これらの受賞作品の一般公開などにより、区民をはじめ多くの方々に文化芸術に触れる機会を設けることで、若手芸術家の支援・育成を図っています。

さらに、平成27年4月に「たなか舞台芸術スタジオ」を整備し、演劇・芸能・舞踊などの公演に向けた稽古場を提供するとともに、利用団体の公演情報を発信するなど、台東区内で行われる舞台芸術活動の支援に取り組んでいます。

### ヴァーチャル美術館アクセス件数の推移



〈出典〉台東区調べ

## 課 題

多彩な文化芸術活動が地域で活発に行われるよう、台東区内での活動を支援するほか、新たな文化を創造する芸術家や先駆的な企画などを支援・育成することが必要です。



## 10年後の目指す姿

- 芸術家などによる多彩な文化芸術活動が地域で活発に行われています。

## 主な取り組み

### ● 芸術家の支援・育成

先駆的な文化芸術活動に対し、地域に根付いた活動となるよう継続的な支援を行うほか、台東区長賞を授与した区の所蔵作品の展示や、音楽分野における受賞者による演奏会の開催などにより、区民をはじめ多くの方々が鑑賞できる機会を設けることで、若手芸術家や文化芸術活動を行う団体の支援・育成を図ります。

### ● 舞台芸術活動への支援

演劇・芸能・舞踊などの公演に向けた稽古場の提供や公演情報の発信などにより、区内で行われる文化芸術活動の支援・育成を図ります。

## 施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
ヴァーチャル美術館※ アクセス件数	年4万1,000件	年4万1,500件	年4万2,000件	所管課調べ
たなか舞台芸術スタジオの稼働率	81%	85%	85%	所管課調べ

### ※ ヴァーチャル美術館

区が所蔵する台東区長賞受賞作品をはじめとした、台東区ゆかりの芸術作品を紹介するウェブサイトです。



たなか舞台芸術スタジオ

## 現 状

台東区には、上野の山文化ゾーンの文化施設をはじめ、文化財や伝統芸能など豊富な文化資源が集積しています。

区ではこれまでも、様々な文化資源を把握するとともに、文化専門ホームページなど、多様な媒体を活用して広く文化に関する情報を発信してきました。

また、スポーツだけでなく文化の祭典でもある東京2020大会は、文化資源が多く集積し、文化を守り育み発展させている台東区の魅力を広く国内外に発信するための絶好の機会でもあります。そのため区では、平成29年10月に「たいとう文化発信プログラム」を策定し、区民や地域の団体、民間事業者など、多様な主体と連携して、「歴史と文化のまち」台東区の魅力を国内外に発信しています。

## 課 題

国内外から多くの人々を惹きつけ、また、区民が自分の住むまちの文化の魅力を再認識するため、多様な媒体・手法により、台東区の文化に関する情報を効果的に発信していく必要があります。

## 10年後の目指す姿

- 多様な媒体・手法により情報を発信することで、国内外から多くの人々を惹きつけ、台東区の歴史や多様な文化に触れる機会が一層創出されています。
- 区民が台東区の文化の魅力を再認識し、まちへの誇りと愛着が育まれています。

## 主な取り組み

### ●文化の魅力の国内外への発信

文化芸術広報誌の発行のほか、区のウェブサイトを通じて、個人や団体など、様々な主体により行われている区内の文化イベントを一体的に掲載するとともに、国の文化情報プラットホーム<sup>※1</sup>と連携し、区内の豊富な文化・芸術に関わる様々な取り組みを広く国内外へ発信します。



## 施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
たいとう文化マルシェ <sup>※2</sup> アクセス件数	年6万件	年9万件	年12万件	所管課調べ

### ※1 文化情報プラットフォーム

全国の文化情報を一元的に管理・集約して情報発信することを目的とした東京2020大会以降のレガシーを目指す文化庁による取り組みです。

### ※2 たいとう文化マルシェ

台東区内の魅力あふれる文化イベント・文化施設・展覧会レポートなどを紹介する文化芸術総合サイトです。

たいとう文化発信プログラムのロゴマーク



江戸たいとうのロゴマーク



## 施策 31 誰もが文化に親しむ環境づくり

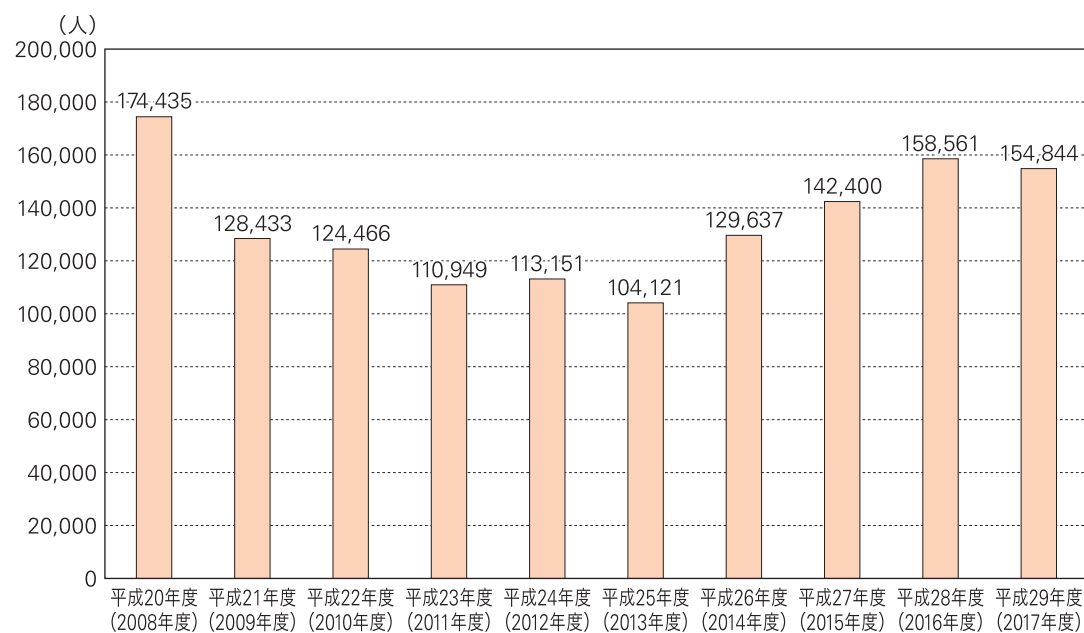
### 現 状

平成27年度「台東区民の意識調査」において、区民が重要だと考える芸術・文化に関する取り組みとして、「区民が気軽に芸術・文化に触れられる機会を充実すること」を挙げた人は47.8%と最も多く、「子供たちに、本物の芸術・文化に触れる機会を提供すること」を挙げた人も35.4%いる結果となっています。また、平成29年度の同調査では、東京2020パラリンピックの開催で期待することとして「障害のある人が文化と触れ合う機会や環境の充実」を挙げた人が27.9%いるという結果も示されています。

区では、東京藝術大学と包括的な連携協定を結び、多様な分野で連携事業を推進するとともに、朝倉彫塑館や一葉記念館、書道博物館などの区立文化施設を活用し、誰もが気軽に文化に親しむことができるよう、各施設の特色に応じた台東区の文化資源を公開しています。

また、平成30年度からは「江戸まちたいとう芸楽祭」を開催し、台東区内各所で伝統文化や芸能に気軽に触れられるプログラムを展開しているほか、子供や障害者などへの文化鑑賞の機会を提供しています。

#### 区立文化施設来館者数の推移



〈出典〉台東区調べ





## 課題

文化は区民が心豊かな生活を送るために不可欠なものであるため、教育機関との連携や文化施設の活用などを通して、年齢・障害の有無に関わりなく、誰もが文化に親しむことができる環境づくりに取り組む必要があります。

## 10年後の目指す姿

- 年齢や、障害の有無に関わりなく、誰もが気軽に芸術・文化に親しめる機会が提供されています。

## 主な取り組み

### ●文化に触れられる機会の提供

伝統文化や芸能に気軽に触れられるイベントの実施や、多言語に対応したウェブサイトによる情報発信により、文化活動の裾野を広げることで、区民の文化振興を図ります。

### ●教育機関との連携

地域の芸術、文化、教育、まちづくり、産業などの振興を図るため、東京藝術大学をはじめとした教育機関と、様々な分野において連携事業を実施します。

### ●文化施設の活用

区立文化施設を活用して、台東区ゆかりの人物、芸術、文化などを広く一般に公開することで、多くの人が台東区の歴史や文化に触れ、理解を深める機会を提供します。

### ●子供達が文化に触れられる機会の提供

学校の教育活動の一環として、文化施設や教育機関などとの連携により、子供達が本物の文化に触れる機会を提供し、子供達の豊かな感性を養うとともに、生涯にわたって文化や芸術に親しんでいくきっかけを作ります。

●高年齢者・障害者の文化活動の支援

高齢者の生きがいやふれあいの機会を生み出す文化活動を支援し、また、文化施設や教育機関と連携し、障害者への文化鑑賞機会を提供するとともに、障害者の表現活動の場づくりの支援を行います。

施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
区立文化施設の 来館者数	年15万4,000人	年16万9,000人	年18万4,000人	所管課調べ
たいとう 文化マルシェ※ 登録イベント件数	年300件	年450件	年600件	所管課調べ

※ たいとう文化マルシェ（用語の解説については、137ページ参照）



旧東京音楽学校奏楽堂



## 現 状

台東区は、四季折々の伝統行事、上野の山の文化施設、浅草の大衆芸能、そして江戸時代以来の日々の暮らしに根ざした生活文化など、個性豊かな文化を有しています。これらの台東区が誇る文化は、区民をはじめ多くの人々の手によって築き上げられ、世代を通じて継承されてきたものです。

文化は、まちの魅力を育み、産業・経済の活力を生み出す源であることから、区では、長い年月をかけて培ってきた文化の力を、産業や観光など様々な経済活動に活かした取り組みを進めています。

台東区は、江戸時代から伝わる伝統工芸品や、靴・かばんを中心とした皮革製品など、ものづくりが盛んなまちです。区では、伝統工芸をはじめとするものづくりの魅力や価値を台東区内外へ情報発信するとともに、集客性の高いイベントを支援し、地域経済の更なる発展に向けた取り組みを推進しています。

また、台東区には、日本を代表する文化資源が集積しており、観光客に対して、伝統文化を体験する体験型観光メニューや、豊富な文化資源を活かした観光コースの提供など、多彩な文化を活かした観光施策に取り組んでいます。

## 課 題

台東区の歴史あるものづくりのまちとしての魅力を発信し、産業の振興を図ることが求められています。

また、台東区の豊富な文化資源の魅力を観光施策に活かして、地域の活性化を図ることが求められています。

## 10年後の目指す姿

- 台東区の多様な文化資源を活かした、更なる産業と観光の振興が図られています。

## 主な取り組み

### ●ものづくり産業の持続的発展

台東区の特徴的な地域産業が有する価値や創造性を活かし、ものづくりのまちとしての魅力を発信することで、地域の活性化と産業の振興を図ります。

### ●文化資源を活用した観光振興

台東区の文化を活かしたイベントを実施するほか、文化体験ができる観光メニューの提供などにより観光客を誘致し、地域の活性化と観光の振興を図ります。

## 施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
観光消費額	2,672億円 (2016年)	増加	増加	台東区観光統計・ マーケティング 調査



江戸まち たいとう芸楽祭